

## 《2010年分》

### ○著訳書○

1. 塩入俊樹 著. II章 うつ・不安の病因と病態 神経科学からみた発症のメカニズムと病態 不安, 下田和孝[編集] 脳とこころのプライマリケア 第1巻 うつと不安(p.61-69); シナジー出版.
2. 塩入俊樹 著. II.こころの病気の理解とその治療 神経症性障害, ストレス関連障害(パニック障害, 広場恐怖, 全般性不安障害, 社交不安障害, 特定の恐怖症, 心的外傷後ストレス障害, 適応障害), 樋口輝彦, 野村総一郎[編集] こころの科学増刊 こころの医学事典(p.178-192, 208-210); 日本評論社.
3. 塩入俊樹 著. I.中枢神経系の構造と機能 J.運動系と下行性網様体系 2.脳幹における呼吸・循環制御とパニック障害, 神庭重信, 加藤忠史[責任編集] 専門医のための精神科臨床リュミエール 16 脳科学エッセンシャル —精神疾患の生物学的理解のために(p.122-124); 中山書店.
4. 高岡 健 編著. 少年事件 心は裁判でどう扱われるか 弁護士と児童精神科医の対話; 明石書店.
5. 高岡 健 著. 自閉症概念の成立と消滅, 小澤 勲[著] Psycho Critique 11 自閉症論再考(p.111-122); 批評社.
6. 高岡 健, 宮台真司, 彦坂尚嘉 著. 座談会 グローバリゼーションの中のアートはどこへ向かうのか, 彦坂尚嘉, 五十嵐太郎, 新堀 学[編著] 空想皇居美術館(p.180-205); 朝日新聞出版.
7. 高岡 健 著. アスペルガー症候群と反社会的行動, 山崎晃資[編著] 自閉症スペクトラムと特別支援教育 発達障害の子どもたちとのかかわり(p.219-227); 金剛出版.
8. 高岡 健 著. 精神鑑定とは何か 責任能力論を超えて; 明石書店.
9. 高岡 健 著. うつ病, 精神保健福祉白書編集委員会[編] 精神保健福祉白書 2011年版 岐路に立つ精神保健医療福祉 —新たな構築をめざして(p.146); 中央法規出版.
10. 天野雄平, 塩入俊樹 著. RLAIにより夫婦の語らいを取り戻した1例, 村崎光邦[編集] リスペリドン持続性注射剤(RLAD)100の報告 症状の改善から, 再発予防・社会参加を目指して(p.136-137); 星和書店.
11. 天野雄平, 植木啓文, 塩入俊樹 著. 【症例】Case22 SSRIで activation syndrome をきたした初老期うつ病にミルナシブランが奏効した1例, 上島国利[総監修] うつ病薬物治療のエクセレンス ミルナシブランの治療経験からみえてくるもの(p.128-129); アルタ出版.